

情シス部の負担を減らすことが働き方改革への一歩
情シスの業務を解析して、平準化！
情シスの業務を効率化する4つの取組み



はじめに

IT化やDX推進による情シス部の負担過多

昨今、クラウドサービスの活用により、IT技術を利用した業務プロセスの自動化、状態の見える化やデータ活用が進んでいます。組織内でクラウドサービスやシステムを活用することは当たり前となっている現在、それらを管理する情報システム部門の重要性は増しているといえるでしょう。そのため、情シス部の業務は肥大化し、業務負担が増大しているという課題も大きくなっています。

働き方改革や企業のDX推進が求められるいま、組織の情シス部の業務効率化や業務負担を削減することは急務だといえます。情シス部の課題は「企業の重要課題」として解決を目指すべきだといえます。

INDEX

はじめに	1	第3章 優秀な社内SEを獲得するには	
IT化やDX推進による情シス部の負担過多		人材採用での獲得は極めて困難	16
第1章 少数体制の情シスも珍しくない。情シスの負担は増える一方		テクバンの社内SEサービス	17
情シスが抱える4つの課題	4	社内SEサービスのポイント	18
1. 人材不足で少数体制の情シスも当たり前	5	自分たちの状況に応じたサービス内容	19
2. 最新情報にキャッチアップする時間がない	6	おわりに	20
3. ノンコア業務の増大	7	お客様の業務効率化を実現する、業務支援を提供します	
4. リモートワーク、働き方改革で業務は増える一方	8	企業情報	
第2章 情シスの業務を改革する4つの取組み			
情シスがコア業務に取り組みないとDXは進まない	10		
1. ノンコア業務のマニュアル化、社内FAQの整備	11		
2. 定型業務の標準化	12		
3. クラウドサービスの導入、業務のアウトソース	13		
4. プロフェッショナルな社内SEの活用	14		